

## 東北新生園の桜満喫

### Vitality登米ウォーク開催

「Vitality登米ウォークin東北新生園コース」が4月9日に開催され、市内外から32人が参加しました。

このイベントは、健康づくりへの意識向上と、ハンセン病に対する正しい理解と知識の普及を目的に開催。参加者は、園内に植樹された千本の桜が咲く風景を味わいながら、園内の「御歌碑」「慰霊塔(三重の塔)」「しんせい資料館」「睦橋」などを巡りました。相澤喜久夫さん＝栗原市＝は「昔は敷地内の施設に映画を見に来たこともありましたが、最近は訪れるきっかけがなくて、今回チラシを見て参加しました。桜を楽しみながら体を動かせるいい機会になりました」と話しました。



春の心地よい陽気の中、参加者は和気あいあいと会話を交わしながら、約2.2kmのウォーキングコースを歩きました。

## 消防・救急体制を強化

### 新たに東部消防指令始動

「宮城県東部消防指令センター開所式」が4月4日、石巻地区広域行政事務組合消防本部内で行われ、共同運用する石巻市、東松島市、女川町、気仙沼市、南三陸町、本市から関係者が出席し、消防・救急体制の強化に期待を寄せました。

同センターは、最新の通信・情報システムを備え、県東部地域の消防・救急活動の指令拠点として機能し、市町の枠を越えた迅速な応援出動や大規模災害に連携して対応することが可能になりました。熊谷康信市長は「地域の防災拠点として、未来の世代に安心を引き継げるよう取り組んでいく」と決意を新たにしました。



伊藤哲也副知事と各市町の首長によるテープカットが行われ、地域住民の安全・安心の向上を目指して開所を祝いました。

## 創建千三百年を祝う

### 柳津虚空蔵尊で記念大祭

「創建千三百年大祭」が、4月12日から5月31日まで、柳津虚空蔵尊で開かれ、多くの参拝客が訪れています。

この催しは、今年、創建1300年の節目を迎えることを記念して開催。秘仏の「前立本尊虚空蔵菩薩」の特別公開のほか、登米市産の杉で作られた回向柱が本堂前に建立され、訪れた人は柱に触れて、家族の健康や世界平和などを願いました。鈴木千春さん＝迫町鉄砲丁＝は「普段から神社巡りをしているので、貴重な御開帳の機会を楽しみに来ました。これからも笑って楽しく過ごせよう」と願いを込めて手を合わせました」と話していました。



初日には、回向柱の前で散華がまかれ、多くの人が大切に持ち帰りました。最終日の5月31日午後3時にも実施されます。

## 幼児教育の環境充実

### 米山こども園の誕生祝う

「米山こども園開園式」が4月7日、同園で行われ、多くの関係者や地域住民が出席し、地域の未来を担う子どもたちの成長を支える新たな拠点の誕生を祝いました。

同園は、子どもたちが教育と保育の両面から充実した環境で過ごせるように、「米山幼稚園」と「よねやま保育園」を統合。旧よねやま保育園の園舎を活用して開園しました。PTA会長の細川凌さん＝米山町中塚＝は「園児が増えたので、活気あるこども園になってほしいです。元気よくあいさつできるように育ててほしいですね」と、園児たちの健やかな成長を願っていました。



「心身ともに健康で、心豊かな子どもの育成」を教育・保育目標に掲げ、子どもたちの健全育成を目指してスタートを切りました。

## 食べ、飲み、走る祭典

### 第12回東北風土マラソン

「東北風土マラソン&フェスティバル2026」(同実行委員会主催)が4月19日、長沼フットピアトヨテツの丘公園で開催され、多くのランナーや観客が訪れました。

マラソンでは、フル、ハーフ、親子ラン、キッズラン、5キロランの5種目に、18カ国45都道府県から集まった4,594人が出場。ランナーは、春の陽気に包まれた長沼を楽しみながら駆け抜けました。会場内では「登米フードフェスティバル」や「東北日本酒フェスティバル」も同時開催され、競技として走る人、食事やお酒を楽しむ人、仮装で盛り上げる人など、来場者はさまざまな楽しみ方でイベントを満喫しました。



今大会の仮装テーマは「80's」。出場者は、80年代をイメージした仮装やコスチュームに身を包み、来場者を楽しませました。

## セカンド・ウッド贈呈

### 新小学1年生に木育鉛筆

市は、市内小学校へ入学した全児童418人に対し、市内産のFSC認証木材を活用して製作した鉛筆をセカンド・ウッド(木育鉛筆)として贈呈しました。

この事業は、子どもたちが木に触れ合い、木と共に生活することを通じて、自然を大切にし、おおらかにすくすくと成長することを願い、新生児向けのファースト・ウッド(はじめての木製品)の贈呈に続く取り組みとして本年度から実施。三塚莉子さん＝新田小1年＝は「小学校では、登米市の木でできた鉛筆を使いながら、勉強を頑張りたいです」と笑顔で話しました。この事業は来年度以降も実施する予定です。



新田小学校では、4月8日に行われた入学式で、熊谷康信市長から児童一人一人に木育鉛筆のセットが手渡されました。